



SANDEN

Delivering Excellence

取扱説明書

サンデン レギュラーコーヒーマシン用ミルクユニット

形式 RCM2-MU4-SD

- このたびは、サンデンミルクユニットをお買い上げいただきありがとうございます。ありがとうございました。
- ご使用前に必ずこの〔取扱説明書〕をお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



※コーヒーマシン本体に取り付けたイメージです。
 コーヒーマシン本体は、別途お買い求めください。

目次

安全上のご注意	1
1. 各部の名称	
1-1 外部名称	6
1-2 内部名称	6
2. 外形寸法	7
3. 据え付け上のご注意	
3-1 据え付け場所	8
3-2 製品の据え付け	8
3-3 コーヒーマシンとの接続	9
3-4 給・排水配管接続	12
4. 販売準備	
4-1 電源の投入	14
4-2 コントローラーの設定	14
4-3 初期洗浄	14
4-4 原料の充填	15
4-5 選択ボタンと飲料コードの 割り付け設定	15
4-6 テスト搬出	15
5. コントローラー キーボード	
5-1 コントローラーの外観	16
5-2 カバーキーボード 操作キー機能一覧表	16
5-3 項目別機能一覧表	17
6. 定期的清掃・お手入れ	
6-1 清掃区分	21
6-2 清掃周期と清掃箇所	22
6-3 提供を長期間停止する場合	25
6-4 消耗部品	25
7. 故障診断	
7-1 警告表示モニターによる 故障診断	28
7-2 キーボードによる故障診断	29
8. 仕様	31



古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

サンデン・リテールシステム株式会社

37754-80470 SST-MF1 AU-121



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をする方、お使いになる方、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】




 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されることを示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、食中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療のための入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
	注意を示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。
もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外での火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

1. 据え付け（設置）の前に



警告



据え付けは、専門の設置業者または、お買上げ先へ依頼する
不完全な設置は、転倒事故・感電・火災・食中毒などの恐れがあります。



据え付けは消防法・食品衛生法・電気事業法などを遵守する
違法な設置は、事故発生の恐れがあります。



再設置については専門の設置業者または、お買上げ先へ依頼する
不完全な移動再設置は、転倒事故・感電・火災・食中毒などの恐れがあります。



電気事業法で漏電遮断器の取付けが義務付けられている場所へ据え付ける場合は、漏電遮断器を取付ける
違法な据え付けは、事故発生の恐れがあります。



定格電圧 100Vの製品は、必ず単相100Vで電流容量15A以上のコンセントを単独で使用する
延長コードの使用や分岐コンセントは、火災の恐れがあります。



アースは、ガス管や水道管、電話のアース線、避雷針などに接続しない
感電や火災の恐れがあります。

2. 据え付け場所について



警告



屋内に据え付ける
違法な設置は、事故発生の恐れがあります。



床が丈夫で水平な所に据え付ける
傾いたり不安定なときは、販売に支障をきたすだけでなく、騒音や転倒する恐れがあります。



局所的な台(コンクリートブロック)の上に据え付けない
台がはずれ転倒する恐れがあります。



ホコリの多い所や腐食性ガスの当たる所は避ける
本機が腐食したり、異常動作や漏電の恐れがあります。



直接、雨・潮風の当たる場所には据え付けない
錆・漏電・感電の恐れがあります。



湿気の多い所や、水のかかり易い場所には据え付けない。
絶縁低下による漏電・感電等の恐れがあります



火気のそばや油煙、湯気が当たる場所には据え付けない
感電や火災の恐れがあります


安全上のご注意

3. 据え付け時の荷扱い上のご注意

警告





 <p>安全のため、保護具（安全靴・すべり止め付手袋など）を着用する 保護具を着用しないと、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>本機の上に乗らない 滑って落下したり、本機が転倒する恐れがあります。</p>
 <p>荷扱いの前に必ず梱包枠の割れ・腐れを確認する 梱包材が破損していると、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>本機をリフトで運搬するときは、ベルトで固定する ベルトで固定しないと本機が落下する恐れがあります。</p>
 <p>包装バンドを持って荷扱いしない バンドが切れけがをする恐れがあります。</p>	 <p>設置場所の周囲には、人や車が近づかないよう処置をする 処置をしないと作業員や他の人がけがをする恐れがあります。</p>
 <p>クレーンで上げ下ろしするときは、絶対に梱包枠を吊り上げない 梱包枠が破損し本機が落下してけがをする恐れがあります。</p>	 <p>本機に原料・水等を充填した状態での移設、移動は行わない 振動や衝撃により、部品の破損、変形、水漏れ、食中毒等の恐れがあります。</p>

注意

 <p>本機を移動する場合は、傾けたり横積みしない 製品の破損や故障の原因になります。</p>	
---	--

4. 開梱時の安全上のご注意

警告

 <p>クレーンで荷降ろしするときは、梱包枠から本機をはずし、本機だけを吊り上げて降ろす 下部の梱包枠などに乘せたまま吊り上げると梱包材が破損し落下する恐れがあります。</p>	 <p>梱包枠をはずすときは、天井面・底面の順にはずす 他の順序ではずすと、梱包枠が落ちけがをする恐れがあります。</p>
 <p>梱包用バンドを切るときは、片手でバンドを持ち、持ったバンドの下側を切る 上側を切ると、切れたバンドが体に当たり、けがをする恐れがあります。</p>	 <p>梱包枠や梱包用ポリ袋は設置後、持ち帰る 設置場所に放置すると梱包枠でけがをしたり、幼児などが袋で遊び窒息する恐れがあります。</p>

安全上のご注意

5. 使用上のご注意



警告



アースを必ず接続する

アースはガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。アースが不完全な場合は、故障や漏電の時に感電の恐れがあります。



地震などによる本機の転倒防止の処置をする

振動により本機が転倒し、けがの恐れがあります。



ドアにぶら下がったり、乗ったり、ドアを支えにして立ち上がったりしない
機体が倒れたり、手をはさんだりして、けがをする恐れがあります。



引火しやすいエーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガス(ライター用ボンベ)などは入れない

爆発する恐れがあります。



機体の上に物を置かない

ドアの開閉で落下して、けがをする恐れがあります。



差込プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、差込プラグを抜き乾拭きする

火災の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは、使用しない

火災・感電の恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしない

ショート、漏電の恐れがあります。



漏電遮断器はぬれた手で操作しない

ぬれた手で操作すると、感電する恐れがあります。



オプション部品の取り付けや製品内部の清掃の際は、必ず電源を切る

感電やけがの恐れがあります。



長時間ご使用にならないときは、必ず差込プラグをコンセントから抜く

プラグを抜かないと、万一故障したときに漏電・火災の恐れがあります。



本機の異常時や故障のときは、差込プラグを抜き運転を中止する

異常のまま運転を続けると、感電・火災の恐れがあります。



本機を捨てるときは専用の廃棄業者へ依頼する

不適切な廃棄は、法律違反や環境破壊の恐れがあります。



本機を分解しない

感電やけがの恐れがあります。



原料が触れる部分は、食品衛生法に従った日常の衛生管理をする

食中毒等の恐れがあります。

注 意



部品をはずして洗浄した後などにテスト販売するときは、排水トレイ、ミルクタンク、ホース類がきちんと差し込まれているか確認する
熱湯が出てやけどの恐れがあります。



しゃがんで作業した後に立ち上がる時は、頭上に注意する
扉の角部などでけがをすることがあります。



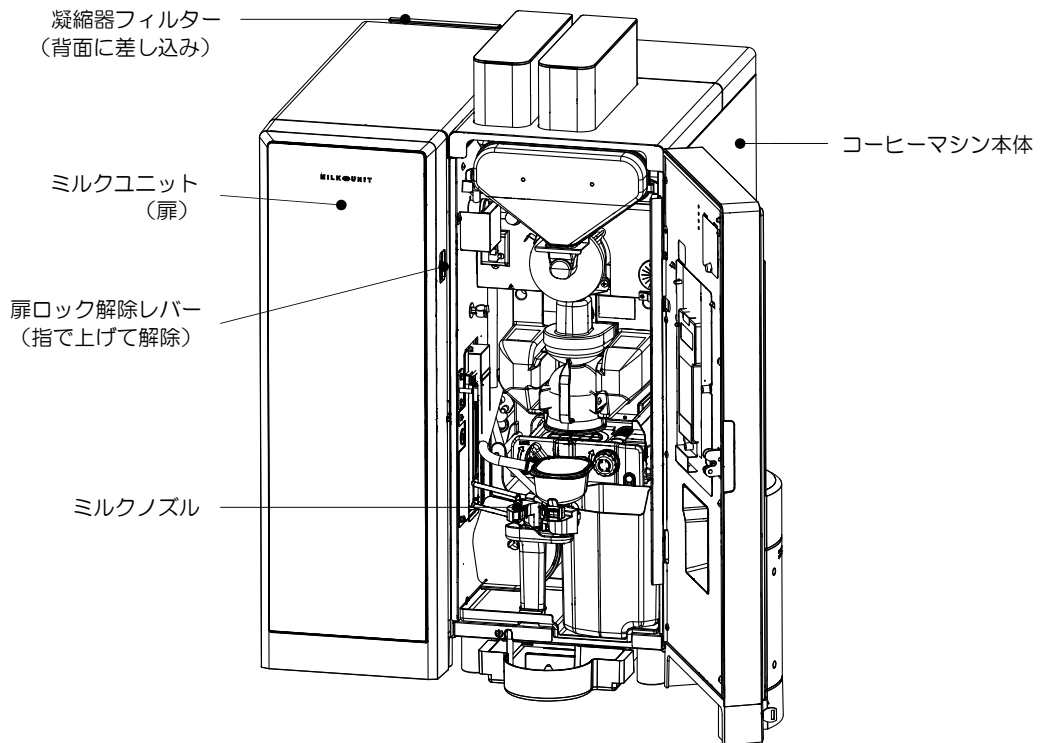
リンス動作中は製品から離れない
第三者が取出口に手を入れ熱湯でやけどをする恐れがあります。



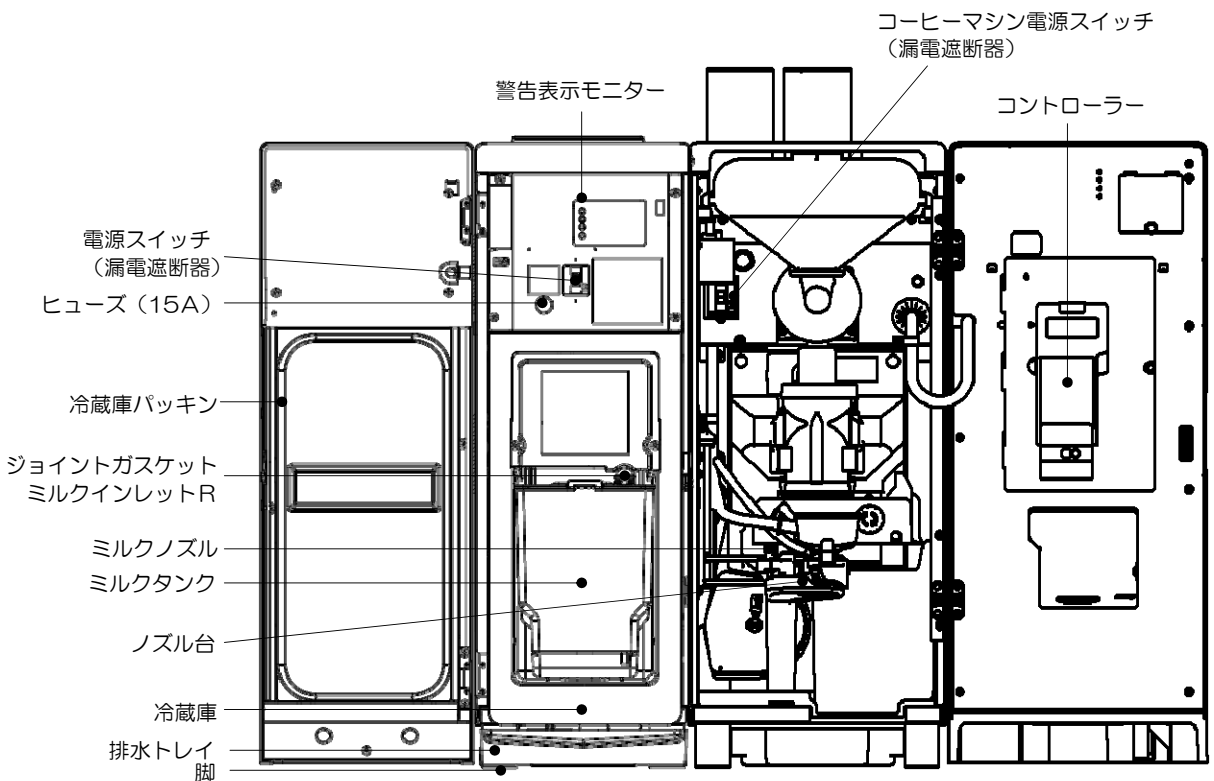
リンスの際は、ノズルの下に手を入れない
洗浄や薬剤洗浄時には熱湯が出てやけどの恐れがあります。

1. 各部の名称

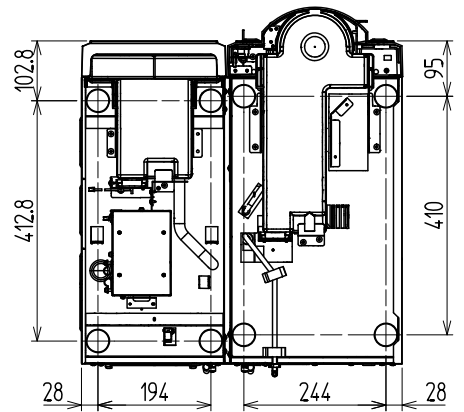
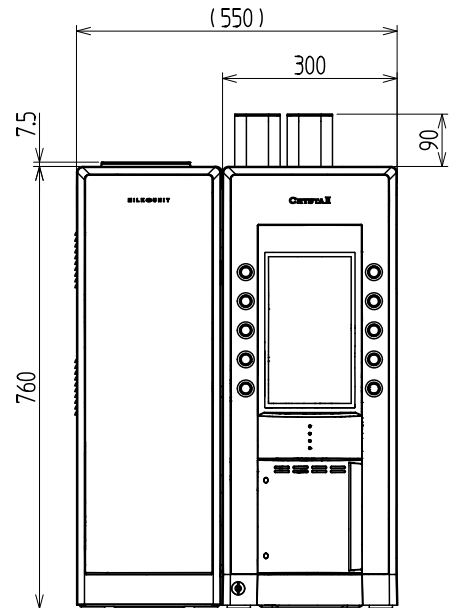
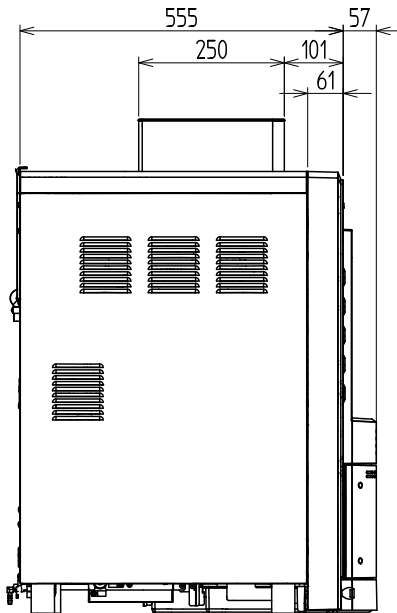
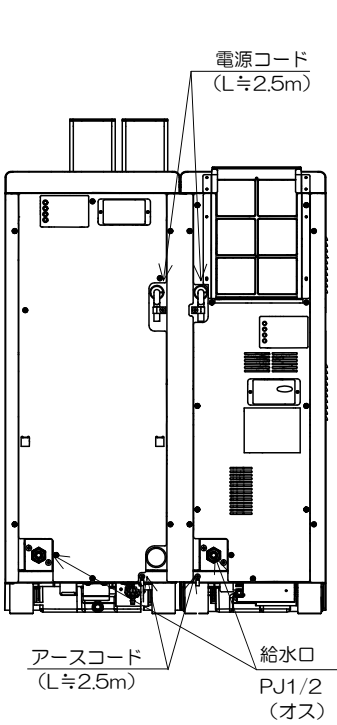
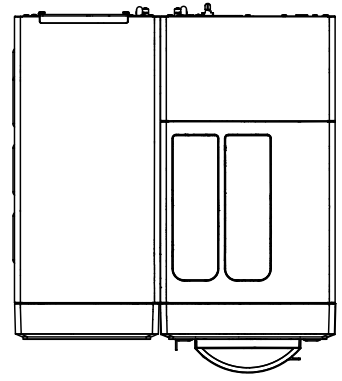
1. 1 外部名称 コーヒーマシン本体の名称については、レギュラーコーヒーマシンの取扱説明書をご覧ください。



1. 2 内部名称



2. 外形寸法



※コーヒーマシンとミルクユニット併設時寸法
 ※高さ方向寸法は、脚のレベリング調整高さ最小時寸法

3. 据え付け上のご注意

⚠️ ご注意

本製品は、コーヒーマシン専用の増設ユニットです。
本製品のみでは使用できません。
必ず対応したコーヒーマシンに接続して使用してください。
コーヒーマシンへの接続は、本取扱説明書を参照して正しく取り付けてください。

3. 1 据え付け場所

- (1) 本製品は、屋内専用機です。
屋外への据え付けはしないでください。
・必ず屋内に据え付けてください。
- (2) 製品の質量に対し十分な床面強度を有する場所に据え付けてください。
・コーヒーマシン本体に本製品を増設したときの合計質量は商品満載時で 約96 kg です。
- (3) 通路や防災機器（消火栓等）を使用するのにじまになる場所には据え付けしないでください。
- (4) 水がかかる場所は避けてください。
- (5) 直射日光が当たる場所や、周囲温度が35℃以上になったり、5℃以下になったりするところは避けてください。
工場出荷時に飲料通路を洗浄してありますが、製品在庫時や開梱後の保管状態によっては塵埃が付着・侵入していることがあります。
使い始めに4. 3初期洗浄を参照して洗浄してください。

3. 2 製品の据え付け

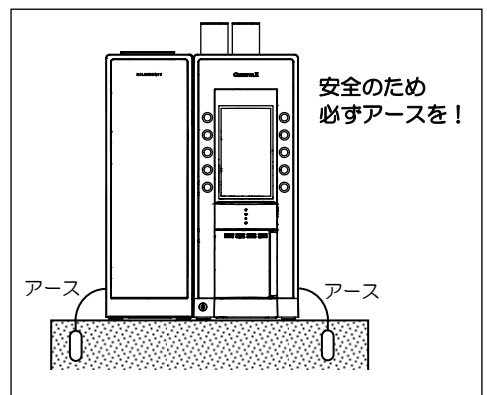
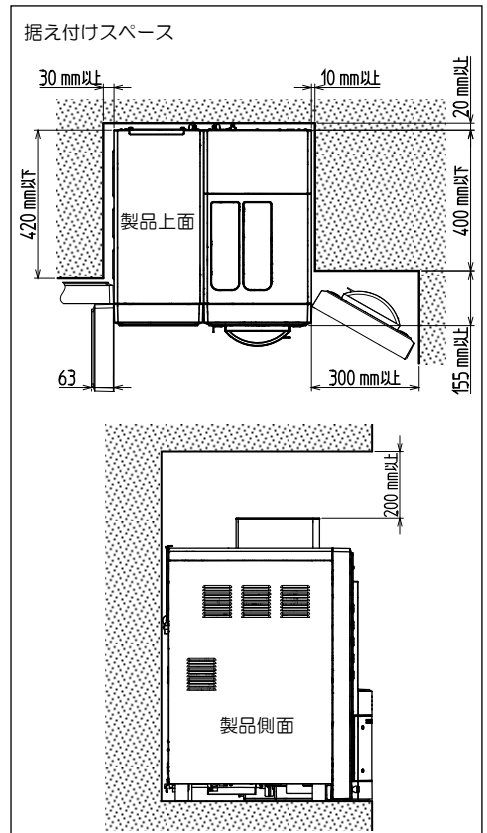
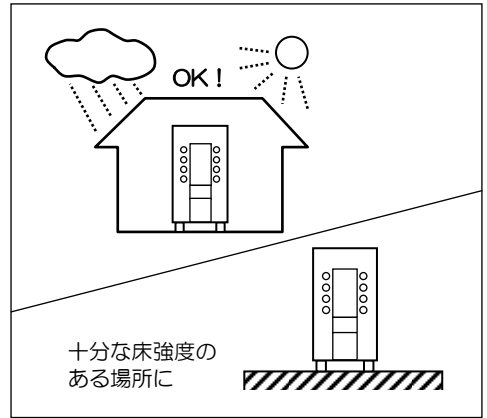
- (1) 据え付けスペース
製品の据え付け場所は扉開閉および通気のため、周囲にできるだけ広いスペースを確保してください。
- (2) 輸送用部品の取り外し
輸送時にミルクタンク、排水トレイ、付属品等がずれたり外れたりしないように輸送用テープで固定されています。
テープを全て外して下さい。
- (3) アース
 - ① 安全のため必ず接地してください。
アース線は製品背面に付属されています。
 - ② 特に床面の水気が多い所（プール、浴場など）では第三種設置工事をしてください。
 - ③ アース線はガス管や水道管、避雷針、電話回線アース等に接続しないでください。
- (4) 電源
 - ① 電源は必ず専用のコンセント（単相 100V±10V、電流 15A 以上）からとってください。
 - ② タコ足配線は絶対にしないでください。発熱、火災の原因となります。

⚠️ ご注意

本製品は、コーヒーマシン本体で制御して動作します。
3. 3コーヒーマシンとの接続を参照し、正しくコーヒーマシン本体と接続してください。

⚠️ ご注意

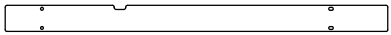
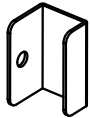
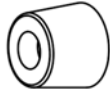
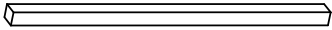


電源供給線のラインインピーダンスが高いと、負荷動作時の電流により電圧降下し、供給電圧が低くなる事があります。



3. 据え付け上のご注意

3. 3 コーヒーマシンとの接続

●ミルクユニットに、下記部品が付属されています。付属部品を確認してください。

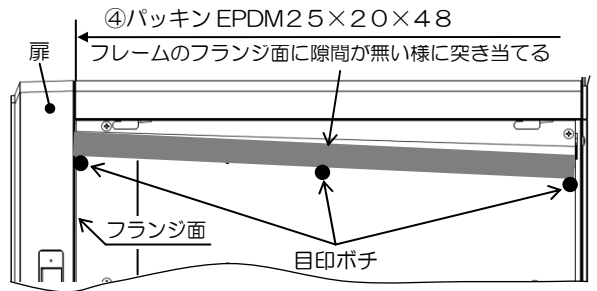
<p>①製品連結板MF (1個)</p> 	<p>②製品固定板MF (1個)</p> 	<p>③外箱スパーサーK-3225 (2個)</p> 
<p>④パッキンEPDM25×20×485 (1本)</p> 	<p>⑤パッキンEPDM10×10×490 (1本)</p> 	<p>⑥ねじ(+BA4×8) (4本)</p> 

●接続手順

(手順1) ④パッキンEPDM25×20×485の貼付け

(右側面上段図)

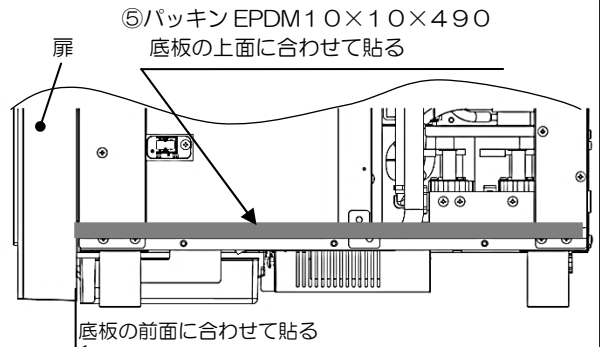
- 1) 貼付け面のホコリ、汚れをきれいにふき取る。
- 2) 本体右側面の目印ボチ (3ヶ所) にパッキンの下端面を合わせ、かつフレームのフランジ面に隙間が無い様に突き当てた位置で貼付ける。



(手順2) ⑤パッキンEPDM10×10×490の貼付け

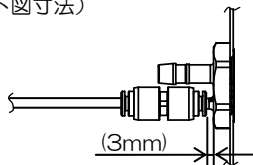
(右側面下段図)

- 1) 貼付け面のホコリ、汚れをきれいにふき取る。
- 2) 本体底板上面と、前面に合わせて貼付ける。

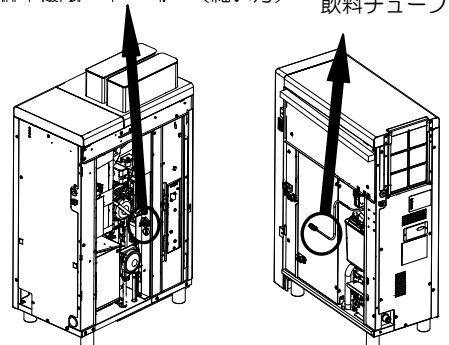
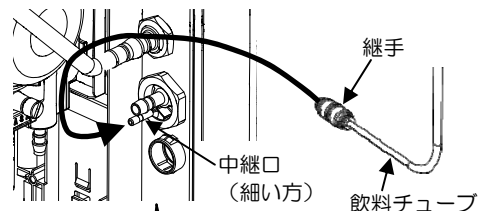


(手順3) ミルクユニットの飲料チューブをコーヒーマシンに接続する。

- 1) コーヒーマシンの中継口 (細い方) に、ミルクユニットの飲料チューブの継手を接続する。継手は傾かない様にして、奥に突き当たるまで差し込む。(めやす: 下図寸法)



- 2) 接続後、飲料チューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認する。



⚠️ ご注意

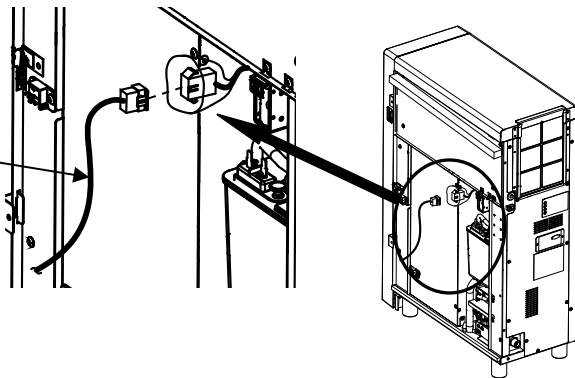
接続の際、中継口及び飲料チューブの継手の破損に注意してください。

3. 据え付け上のご注意

3. 3 コーヒーマシンとの接続

(手順4) コーヒーマシンからのハーネスを
ミルクユニットのハーネスに接続する。

コーヒーマシンからの
ハーネス (8P)



(手順5) 脚のレベリング調整

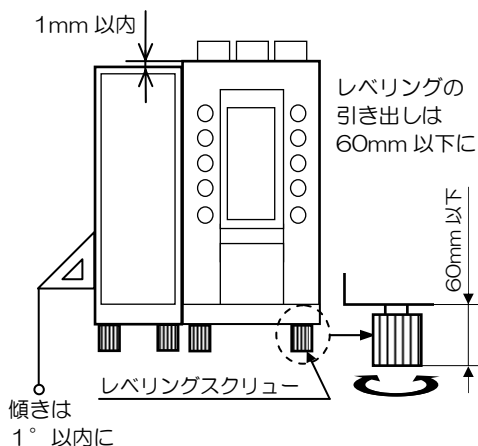
- 1) 製品の傾きが前後左右とも 1° 以内になる様に、
脚のレベリングスクリューを回して調整する。
- 2) ミルクユニットあるいはコーヒーマシンの脚 4 個を、
平均的に回して高さずれを 1mm 以内に合わせる。

⚠️ ご注意

脚のレベリングスクリューは、安全強度を保つため右図の寸法以上引き出さないでください。

⚠️ ご注意

ミルクユニットとコーヒーマシンの高さがずれると、
①製品連結板MF、②製品固定板MFが組付け出来ない場合があります。

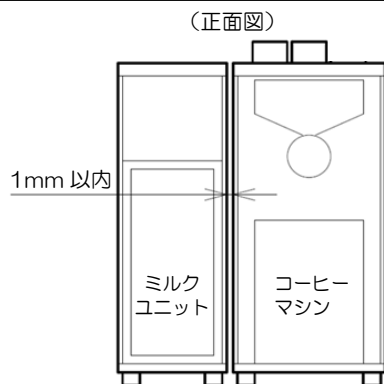


(手順6) ミルクユニットとコーヒーマシンの正面側の隙間を調整する。

- 1) ミルクユニットとコーヒーマシンの扉を開く。
- 2) ミルクユニットとコーヒーマシンのフレームの隙間が1mm以内
になる様に設置する。

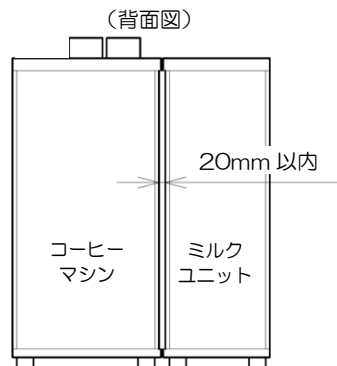
⚠️ ご注意

- ミルクユニットをコーヒーマシンに横付けする際、手を挟まない様に注意してください。
- ミルクユニットをコーヒーマシンに横付けする際、手順 3,4 で接続したチューブやハーネスを挟まない様に注意してください。



(手順7) ミルクユニットとコーヒーマシンの背面側の隙間を調整する。

- 1) ミルクユニットとコーヒーマシンの背面側フレームの隙間が
20mm以内になる様に設置する。

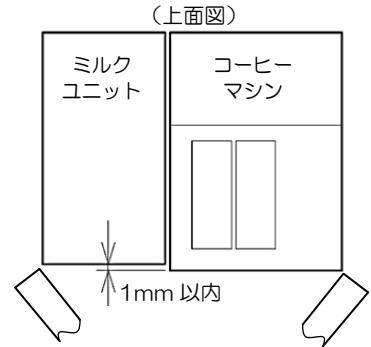


3. 据え付け上のご注意

3. 3 コーヒーマシンとの接続

(手順8) ミルクユニットとコーヒーマシンの前後方向の位置を調整する。

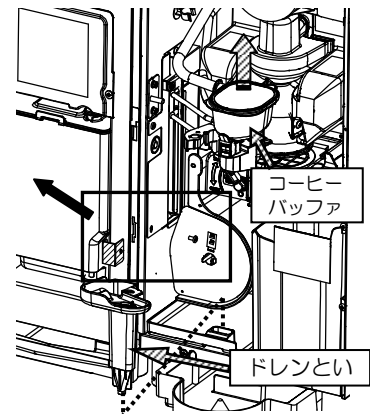
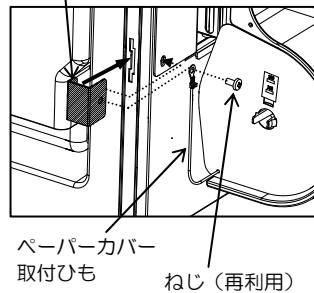
- 1) ミルクユニットとコーヒーマシンの扉を開く。
- 2) ミルクユニットのフレームとコーヒーマシンのフレーム面が、1mm以内に収まるように設置する。



(手順9) ②製品固定板MFの取付。

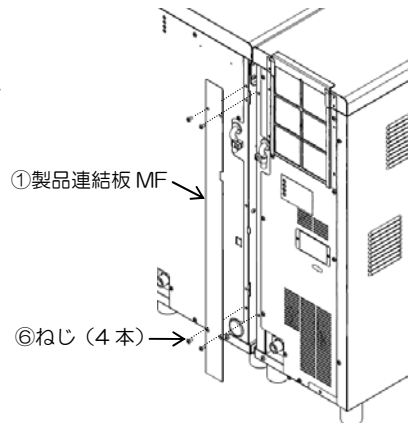
- 1) コーヒーパuffaを上方にスライドして固定する。
- 2) ドレンといを外す。
- 3) ペーパーカバー取付ひもの、止めねじを外す。
- 4) ②製品固定板 MF を、図の異形角穴に差し込む。
- 5) ②製品固定板 MF と、ペーパーカバー取付ひものをねじで固定する。

②製品固定板 MF
(角穴に差し込む)



(手順10) 背面側を、①製品連結板MFで固定する。

- 1) ①外箱接合板MFの切欠きが、ミルクユニット側になる様にして、⑥ねじ (4本) で固定する。



⚠️ ご注意

- ①製品連結板MFの変形に注意してください。
- ねじ穴が合わず、①製品連結板MFが組付け難い場合は、ミルクユニットの位置を調整してください。

3. 据え付け上のご注意

3. 4 給・排水配管接続

(1) 給水配管の接続

製品背面の給水口（PJ1/2 オス）給水配管を接続します。

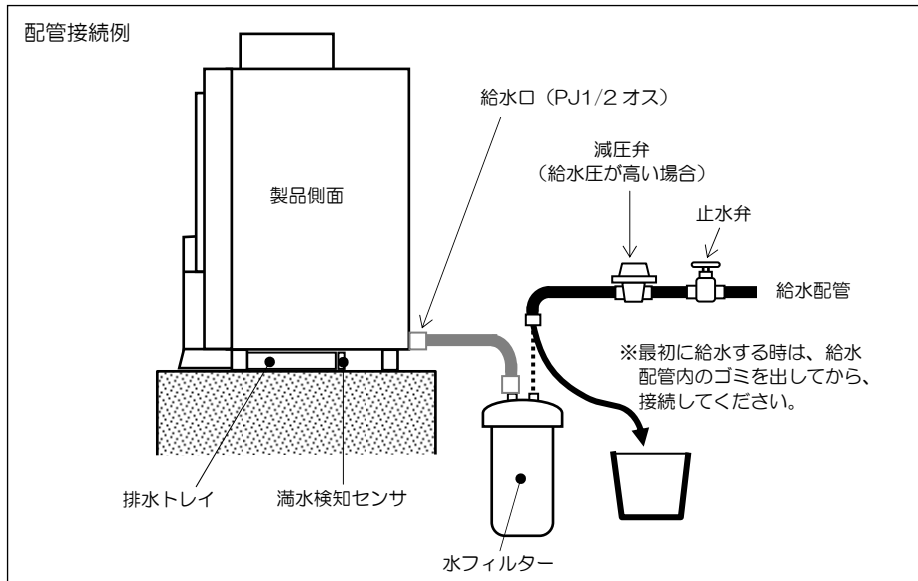
口径 G1/2 接続の場合は適合する平パッキンを使用し、その他の接続方法による場合はシールテープ等を用い、適切な密封処置を行ってください。

⚠️ ご注意

必ず専用の止水栓を製品の近くに取り付けてください。
保守・点検のときや水漏れのときに必要です。

⚠️ ご注意

配管を引き回しの際は、製品底面の排水トレイや満水検知センサーに触れないようにしてください。



⚠️ ご注意

- 水道配管工事は水道局の指定工事店に依頼して行ってください。
- 給水する水は水道法による公営水道を使用してください。それ以外の水を使用する場合は、水道法に定める水質基準以上の水を使用してください。
- 給水圧は 0.05~0.75MPa の間でお使いください。
給水圧が高すぎると給水電磁弁等の故障の原因になりますので、水路に減圧弁を取り付けて水圧を 0.1~0.2MPa の間に調節してください。
- スケール付着による機械故障を低減するため、給水配管と製品の間に専用の水フィルター（浄軟水化フィルター）を入れてください。

3. 据え付け上のご注意

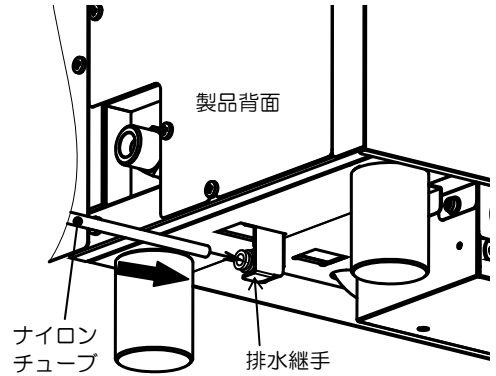
3. 4 給・排水配管接続

(2) 排水配管の接続

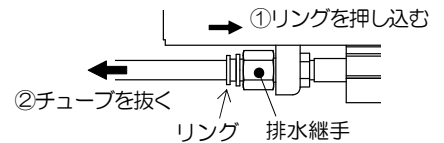
- ミルクユニットの背面下部にある排水継手に、排水用ナイロンチューブ（外径φ6、内径φ4）を接続します。
- 接続は、チューブを真っ直ぐ継手に差し込み、奥に突き当たるまで押し込みます。13mm以上挿入してください。

⚠️ ご注意

- チューブの長さは設置場所に合わせ、たるみや折れが無い様に排水口へ導いてください。
- 排水チューブからは、圧力の加わった排水が吐出します。排水チューブが宙吊りになっていると、圧力変化で振れるため、適宜壁面に固定してください。
- 排水チューブは、R50以下で曲げないでください。チューブが折れて排水詰まりの恐れがあります。チューブを曲げ半径R50未満で引き回す場合は、指定のエルボ継手を使用してください。




ナイロンチューブの抜き方
排水継手のリングを押し込んだ状態で、ナイロンチューブを引き抜いてください。




4. 販売準備

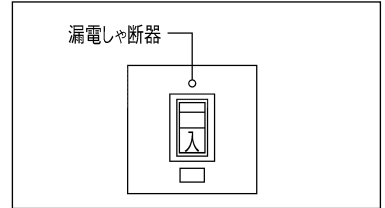
4. 1 電源の投入



警告

漏電遮断器は、濡れた手で触ったり操作しない
感電の恐れがあります。





- コーヒーマシン、ミルクユニットの電源スイッチ（漏電遮断器）両方共に「入」にします。
給水を開始し、コーヒーマシンの湯タンクとミルクユニットのリザーブタンクが満水になると給水を停止します。
※冷蔵庫は、電源ONしてから5分経過した後、冷却を開始します。
- ※内部キーボードの【メンテナンス】「O5」食衛売り切れ機能が工場出荷時は【△コウ】に設定されていますので、自動的に冷却運転を開始しますが、【ユウコウ】に設定されている場合は冷却を開始しません。
この場合はカバーキーボード【点検】キーのメニューで食衛リセット操作をしてください。

（コントローラーの
カバーキーボード
を開いた状態）

4. 2 コントローラーの設定

- ミルクユニットをコーヒーマシンのコントローラーで制御するための設定を行います。
この設定をしないと、ミルクユニットの制御メニューが表示されません。
- コーヒーマシンのコントローラー、内部キーボードを操作して設定します。

- ①キーを“**8**→**6**→**2**→**4**→**フリーズ**”と押すと、ピーとブザーが鳴り、
飲料、**機能**、**タイマー**、**空焚**の4種キーが使用可能になります。
※機能11で、リモコン操作規制がOFFになっている場合は、この操作は不要です。
- ②キーを“**機能**→**数字**→**8**→**2**→**設定**”と操作すると、右図画面になります。
- ③**2**キーを押し、点滅表示部を“ミルク **△コウ**”に移動します。
- ④**6**キーを押し、△コウ→ユウコウに画面を切り替えます。
- ⑤“ミルク ユウコウ”となっている画面で**設定**キーを押します。

82) オプションユニット	
キンセン	△コウ
ミルク	△コウ



内部キーボード

※コーヒーマシンは、ミルクユニットと金銭ユニットの併用は出来ない仕様であるため、
ミルクユニットを「ユウコウ」に設定すると、金銭ユニットは自動的に「△コウ」に設定されます。

4. 3 初期洗浄

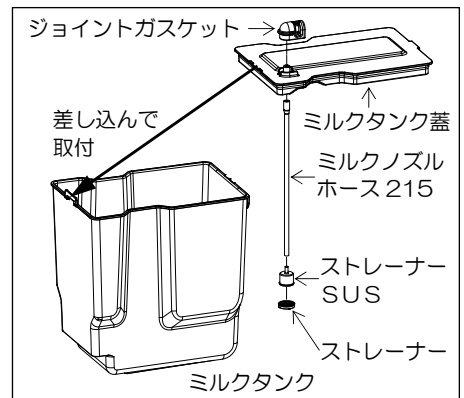
工場出荷時に飲料通路を洗浄してありますが、製品在庫時や開梱後の保管状態によっては塵埃が付着・侵入している事がありますので、使い始めに初期洗浄してください。

- ①ミルクタンク、ミルクタンク蓋、ストレーナー、ミルクストレーナーSUS、ミルクノズルホース 215、ジョイントガasketを中性洗剤で洗浄してください。
- ②水道水で十分すすぎ、水をよく切ってから、もと通りに組み立ててください。
※ジョイントガasketをミルクタンク蓋に、ミルクノズルホース215はミルクタンク蓋とストレーナーSUSの奥に突き当たるまで、しっかりと取付けてください。
- ③電源を入れると、コーヒーマシンのコントローラモニター画面に売切れコード“3046”が表示されます。
【点検】キーを押すと、詳細内容“3046-01 ヤクザイリンスキゲンギレ”と表示されます。
これは、26時間以上ミルク経路の洗浄が行われていない時に表示されるものですので、お使いになられる前に「薬剤ミルク経路リンス」を実施してください。
- ④ミルク経路薬剤リンスの実施手順
6. 2. (1). 6項の薬剤ミルク経路リンスをご覧ください。

※コーヒーマシンの洗浄は、コーヒーマシンの取扱説明書を参照して行ってください。

⚠ **ご注意**

薬剤洗浄時には、コーヒーマシンのミルクノズルから熱湯がでます。
やけどに十分注意してください。



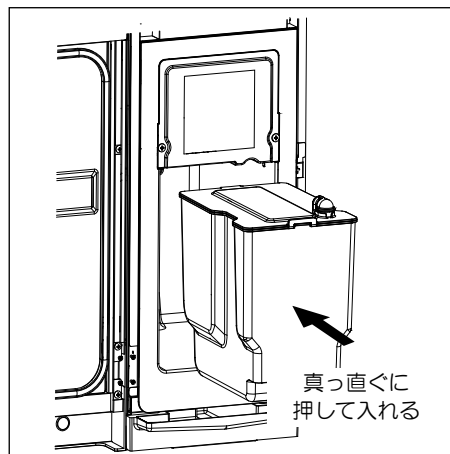
4. 販売準備

4. 4 原料の充填

- ミルクをミルクタンクに充填します。
※充填量が1L未満の場合、ミルク切れセンサーがリセットされないため、販売出来ないことがあります。ミルクは1L～4L充填してください。
- ミルクタンク蓋の凸部を、ミルクタンクの角穴部に差し込んで蓋を閉じてください。
- ミルクタンクを冷蔵庫に真っ直ぐに押し入れ、奥に突き当たるまで押し込んでください。



充填するミルクは、冷蔵保存（10℃以下）されていた未開封のものを使用してください。適切に管理されたミルクを使用しないと、食事故の恐れがあります。



4. 5 選択ボタンと飲料コードの割り付け設定

- ミルクユニットを併設したことにより、必要に応じて飲料レシピの設定・変更および選択ボタンの割り付けを変更します。
- ミルクユニット併設時には、飲料コードのコード番号 400 番台および 500 番台が使用できるようになります。

① 選択ボタンと飲料コードの割り付け、② 飲料レシピの設定・変更 の方法は、技術資料をご覧ください。

4. 6 テスト搬出

ミルクユニットの冷蔵庫が冷えて適温になるとコールドミルク飲料が販売可能になり、加えてミルクユニットの加熱ヒーターの温度が適温に達するとホットミルク飲料が販売可能になります。

販売可能になると、コーヒーマシン本体にある選択ボタン内のLEDが点灯します。

カップをコーヒーマシンのカップステージに置き、選択ボタンを押して飲料を搬出し以下の点を確認してください。

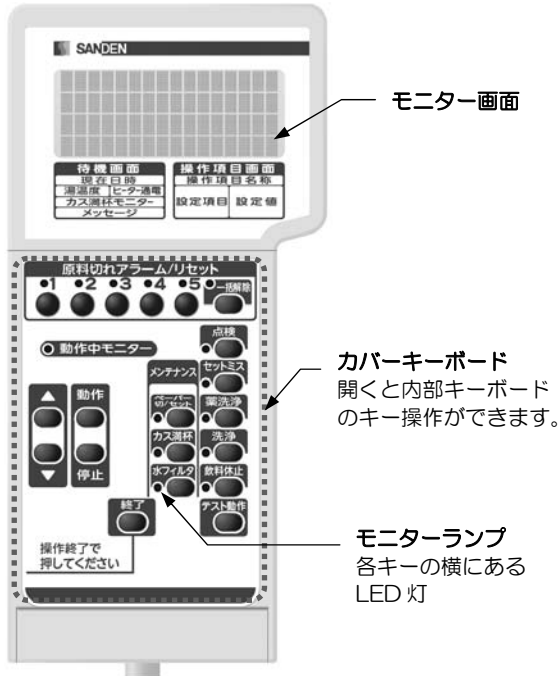
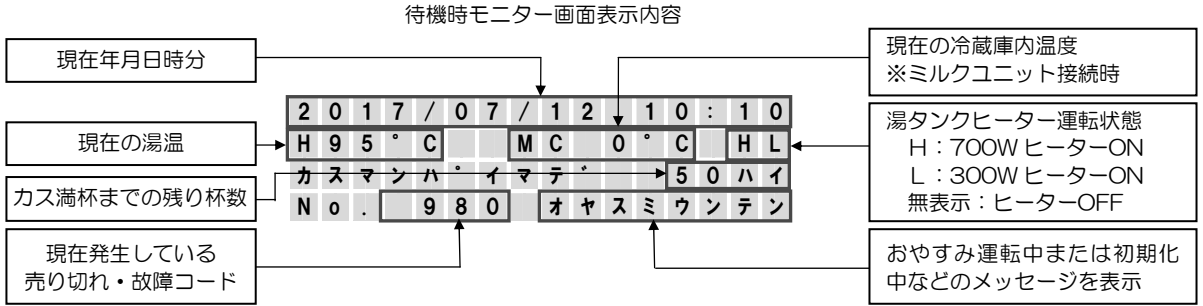
※テスト搬出は、コーヒーマシンの扉を閉めた状態で実施してください。

扉が開いた状態では飲料が排水側に流れるため、カップに入りません。

- 選択したボタンと搬出した豆原料・ミルク（冷/温、泡有/泡無）は合っているか。
- 飲料量は設定量に対して適切か。
- 紙送り量は適切（100～120mm）か。
- 飲料が通路外にこぼれていないか。コーヒー原料・ミルクの飛散がないか。
- 飲料の味覚に異常がないか。

5. コントローラー キーボード

5. 1 コントローラーの外観



※キーボードのキー操作部は2重になっており、カバーキーボードを閉めた時と開いた時で異なる機能があります。日常のオペレーションでよく使う機能はカバーキーボードに配置し、初期設定やメンテナンスなどに使用する機能は内部キーボードに配置してあります。内部キーボードに関する操作については「技術資料」をご覧ください。

5. 2 カバーキーボード操作キー機能一覧表

キー名称	機能項目
点検	現在の売り切れ、故障状況表示/食衛ホールドリセット
セットミス	ブルワーチャンバー・ドリップパンセットミス解除
薬洗浄	薬剤によるリンス (ブルワーリンス/※ミルク経路リンス/※一括リンス)
洗浄	湯水によるリンス (ブルワーリンス/ミキシングボールリンス/※湯ブルワーリンス/※湯ミルク経路リンス)
飲料休止	飲料搬出休止ボタンの設定
テスト動作	単品搬出動作テスト/ブルワー動作テスト/ミル動作テスト
ペーパー切/セット	ペーパーフィルター切れ表示/ペーパー交換作業補助
カス満杯	コーヒーカス満杯表示/リセット
水フィルター	水フィルター交換時期表示/リセット
原料切れアラーム/リセット	豆・粉ホッパー原料切れ表示/リセット

※ミルクユニット接続時に表示される機能項目

5. コントローラー

5.3 項目別機能一覧表

(1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
点検	現在の売切れ項目表示	1回のキー押下で現在発生している売切れ内容を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・売り切れ発生した年/月/日/時/分の表示 ・売切れコードの表示 ・売切れ内容の表示 ・最大表示項目数16件（発生時刻の早い順に消去） ・内部キーボードの【点検】01）機能と同一内容 	【点検】×1回 点灯：操作時 点滅：売り切れ項目発生時
	現在の故障項目表示	2回のキー押下で現在発生している故障内容を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・故障発生した年/月/日/時/分の表示 ・故障コードの表示 ・故障内容の表示 ・最大表示16件 ・内部キーボードの【点検】02）機能と同一内容 	【点検】×2回 点灯：操作時 点灯：故障項目発生時
	食衛売切れホールドリセット	3回のキー押下で食衛売り切れホールドのリセットを行う画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・内部キーボード【メンテナンス】「05）食衛ホールド機能」を【有効】設定で使用している場合に、食衛売切れホールド機能が作動します。 ・画面の案内メッセージに従い操作してください。 	【点検】×3回 点灯：操作時
セットミス	ブルワーチャンバー／ドリップパンセットミス復帰	ブルワーチャンバーまたはドリップパンを装着せずに抽出動作を行うと、抽出動作開始後、エラーとなり停止します。 停止した場合は、【セットミス】→【動作】を押すと、ドリップパンが初期化動作し待機位置で停止します。停止したら、ブルワーチャンバーまたはドリップパンを正しい位置に取り付けてください。 取り付け後、必ず【終了】キーを押して終了させてください。	【セットミス】→【動作】 点灯：操作時 点滅：動作時 点灯：ブルワーチャンバーセットミス発生時

5. コントローラー

5.3 項目別機能一覧表

(1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
薬洗浄	薬剤ブルーワックス	<p>薬剤を使用してブルーを洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ組み込まれたプログラムに従い自動的に洗浄工程が進行します。 画面の案内メッセージに従い薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンバー中心にセットします。 <p>※薬剤は必ずサンデン指定薬剤を使用ください。 ※このプログラムは完了まで5分程度かかります。また洗浄を開始すると終了するまで途中で停止できません。 時間に余裕のあるときに実施してください。</p>	<p>【薬洗浄】→【動作】 以降画面メッセージに従い操作してください。</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>
	薬剤リンス ・ブルーリンス ・ミルク経路リンス ・一括リンス (ミルクユニット接続時)	<p>薬剤を使用してブルーまたはミルクユニットをあらかじめ組み込まれたプログラムに従い自動的に洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本キーを押すとブルーがミルク経路の選択画面になります。 いずれかを選択し【動作】キーを選択し、画面の案内メッセージに従い、操作してください <p>[1. ブルーリンス] ブルー洗浄用薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンバー中心にセットします。</p> <p>[2. ミルク経路リンス] ミルク経路洗浄用の専用薬液を入れたミルクタンクを冷蔵庫内にセットします。 終了後は、ミルクタンク内に残った洗浄用薬液を捨て、タンクを水ですすいでください。 【ミルクユニット専用薬剤：RCM-ML007】</p> <p>[3. 一括リンス] ブルーリンスとミルク経路リンスの両方を一括して連続で行います。 ブルー洗浄用薬剤をペーパーフィルター上のブルーチャンバー中心に、ミルク経路洗浄用薬液を入れたミルクタンクを冷蔵庫内にセットします。</p> <p>※薬剤、薬液は必ずサンデン指定薬剤を使用ください。 ※このプログラムは洗浄を開始すると終了するまで途中で停止できません。 時間に余裕のあるときに実施してください。</p>	<p>【薬洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】 以降画面メッセージに従い操作してください。</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>
洗浄	ブルーリンス／ミキシングボールリンス	<p>湯でブルーまたはミキシングボールを洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本キーを押すとブルーかミキシングボールの選択画面になります。 いずれかを選択し【動作】キーを押すとリンス（洗浄）動作を開始します。 ミキシングボールはオプションのパウダーユニット内にあります。 パウダーユニットを増設していない場合にミキシングボールリンスを実行したときは、一定時間経過後選択画面に戻ります。 	<p>【洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>
	ブルーリンス／ミルク経路リンス (ミルクユニット接続時)	<p>湯でブルーまたはミルク経路を洗浄する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本キーを押すとブルーがミルク経路の選択画面になります。 いずれかを選択し【動作】キーを押すとリンス（洗浄）動作を開始します。 ミルク経路はオプションのミルクユニット内とミルクノズルまでです。 	<p>【洗浄】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>点灯：キー操作中 点滅：動作実行中 消灯：洗浄終了</p>

5. コントローラー

5.3 項目別機能一覧表

(1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
飲料休止	飲料休止の設定	<p>特定の飲料の提供を休止するときに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【飲料休止】キーを押した後、【▽】【△】キーで提供休止したいボタン番号にカーソルを移動し、【動作】キーを押します。 <p>表示が【ハンバイ】から【キュウシ】になり、該当選択ボタンの飲料が提供休止になります。</p> <p>【動作】キーを押す毎に【ハンバイ】【キュウシ】設定が切り替わります。</p> <p>※複数の選択ボタンに同じ飲料コードが割り付けてある場合は、その選択ボタン全てが【キュウシ】設定となります。</p>	<p>【飲料休止】→【△】【▽】キーでボタン選択→【動作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【ハンバイ】：提供可能 ・【キュウシ】：提供休止
テスト動作	単品テスト ブルワーテスト ミルテスト	<p>テスト動作を行うときに使用します。</p> <p>本キーを押すと次のメニューを表示します。</p> <p>目的によりメニューから選択してください。</p> <p>※本機能は、扉を開いた状態でのみ動作します。</p> <p>①タンピンテスト（単品テスト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【動作】キーを押した後、選択ボタンを押すと抽出動作を行います。 ・湯低温、原料切れ、排水満水、カス満杯、湯タンク低水位の状態であっても動作します。 <p>②ブルワーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【▽】キーで選択し【動作】キーを押すと駆動モーターが動作し、ドリッパンが待機位置→上死点位置→下死点位置→待機位置と1往復します。 ・紙送り動作はしません。 <p>③ミルテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【▽】キーで選択し【動作】キーを押すと最大10秒間ミルが動作します。 途中停止するときは【停止】キーを押します。 <p>⚠ ご注意</p> <p>ミルを動作させる時はミル内に手を入れないでください。</p> <p>内部に高速で回転する機構部分があり、けがをする恐れがあります。</p> <p>⚠ ご注意</p> <p>ミルを動作させるとミル内部の残留原料粉が吐出口から吹き出す事があります。吐出口から出る原料粉を受ける準備をしてから動作させてください。</p>	<p>【テスト動作】→【△】【▽】キーで項目選択→【動作】</p> <p>モニターランプはありません</p>
ペーパー切/セット	ペーパー切れお知らせ ペーパーセット	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーフィルターが無くなるとモニターランプが点灯し、お知らせします。 ・本キーを押すとペーパーセットモードになります。続けて【動作】キーを押すとドリッパンが最下点位置まで降下するので新しいペーパーフィルターをセットしてください。 ・ペーパーフィルターのセットができれば再度【動作】キーを押すと、ドリッパンが待機位置まで上昇して動作を終了します。【終了】キーを押したときも同じ動作をします。 <p>⚠ ご注意</p> <p>ペーパーフィルターのセット作業中はコントローラーの操作はしないでください。</p> <p>ドリッパンが急に動き出し手を挟まれる恐れがあります。</p>	<p>【ペーパーセット】→【動作】</p> <p>点灯：操作中 点灯：ペーパー切れ 点滅：5杯以内にペーパー切れ（予告）</p>

5. コントローラー

5.3 項目別機能一覧表

(1) カバーキーボードの使い方

キー名称	項目	機能・内容	操作方法とモニター点灯仕様
カス満杯	カス満杯アラーム/ リセット	カス満杯アラームカウンターのリセットを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • コーヒーの抽出回数が、設定された満杯数に達すると、カス満杯として飲料提供動作を停止します。カス満杯数が [0] に設定されている場合はこの機能は動きません。 • 満杯数の設定は、内部キーボードの【メンテナンス】「03) カス満杯数アラーム」で行います。 • カスを廃棄し、本キーを操作することで満杯カウンターが設定値にリセットされ飲料提供ができる様になります。 • 1杯に使用する豆原料量 10g に対し 1杯減算します。(12g の場合は 1.2杯減算) 例：満杯数 50杯の設定時に 12g の飲料を出し続けると 42杯で満杯となります。 	【カス満杯】→ リセットするときは【動作】 点灯：操作中 点灯：カス容器が満杯 点滅：5杯以内にカスが満杯 (予告)
水フィルタ	水フィルタアラーム/ リセット 注) 経過日数は工場出荷時よりカウントしています。初期稼働時にリセットをしてください。	水フィルタアラームカウンターのリセットを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 販売杯数もしくは経過日数のいずれかが設定値を超えたらモニターランプが点灯し交換時期をお知らせします。 • 設定値の変更は、内部キーボードの【メンテナンス】「02) 水フィルタアラーム」で行います。 • 水フィルタを交換し、本キーを操作することでカウンターが設定値にリセットされます。 • 水フィルタアラームは飲料提供動作を停止しません。 	【水フィルタ】→ リセットするときは【動作】 点灯：操作中 点灯：アラーム発生時
原料切れアラーム/ リセット	注) 機種により搭載していない番号も表示は出ます。 1キー 2キー 3キー 4キー 5キー 一括解除キー	リセットした後の累計原料使用量が原料毎に設定された値になると原料売り切れとしてその原料を使用した飲料の搬出を停止します。但し、設定値を [0] とした時は設定が無効となり、売切れ判定をしません。 設定値の変更は、内部キーボードの【メンテナンス】「04) 原料切れアラーム」で行います。 原料売り切れとなった場合は原料を満杯に補給後、本キーを操作してカウンターをリセットします。このリセットにより搬出停止が解除されます。 ⚠ ご注意 原料を補給せずにこのリセット操作を行うと、原料が入らない飲料が提供されてしまいます。必ず原料補給をしてからリセット操作をしてください。 ⚠ ご注意 内部キーボード【メンテナンス】「04) 原料切れアラーム」で設定する値は、お客様の運用状態(毎回満杯まで補給する、毎回1袋ずつ補給する等)に合わせて設定値を変更してお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> • 原料1(豆1)を設定値にリセットします。 • 原料2(豆2)を設定値にリセットします。 • 原料3(豆3)を設定値にリセットします。 • 原料4(粉1)を設定値にリセットします。※ • 原料5(粉2)を設定値にリセットします。※ • 原料1~5を一括で設定値にリセットします。 	原料切れアラーム/リセット 枠内の【1】～【5】キー リセットするときは【動作】 点灯：操作中 点灯：原料売切れ発生時 ※原料4, 5はパウダーユニット接続時に使用します。

6. 定期的清掃・お手入れ



警告

電気部品に水をかけない
水で濡れると感電の恐れがあります。



注意

原料や飲料が触れる部分は、食品衛生法に従って、常に清潔にする
不適正な日常衛生管理は食中毒の発生原因になることがあります。



- 提供飲料の衛生管理および製品機能の保持のため、製品各部の清掃を定期的に行ってください。
お客様に提供する商品が衛生的で最高の品質であるよう常に心がけて清掃管理を実施してください。
- コーヒーマシン本体の清掃については、コーヒーマシン本体の取扱説明書または清掃マニュアルを参照してください。

6. 1 清掃区分

清掃に当たってのご注意

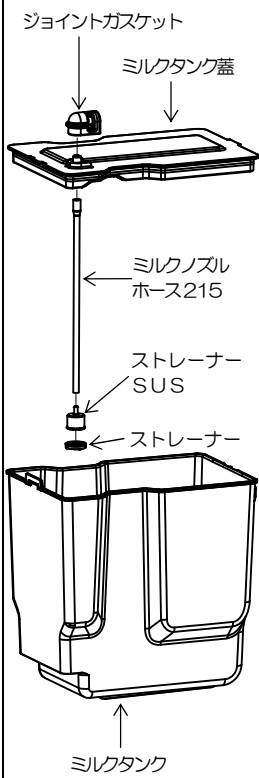

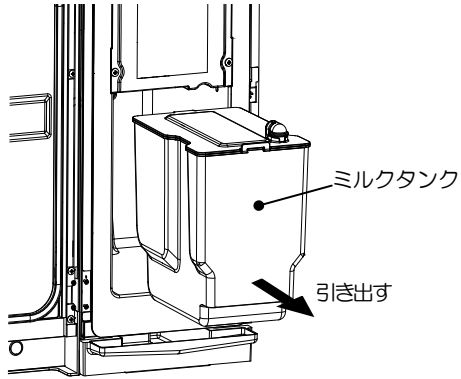

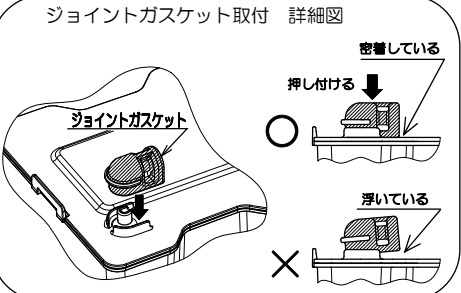
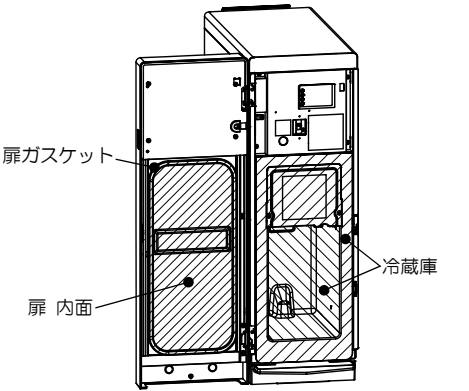
- 1) 製品を汚れたままにして置くと微生物が増殖し、飲料品質の低下や食中毒の原因となるので、清掃は必ず実施すること。
- 2) 原料、カップなど飲料が触れる部品は常に清潔にすること。
- 3) 食品に接触する部品を清掃するタオル類は、ペーパータオル等の常に清潔な物を使用すること。
他の清掃用タオルと混用しないこと。
- 4) 中性洗剤以外の洗剤・溶剤・みがき粉などは樹脂部品を傷めるため使用しないこと。
中性洗剤は柑橘系（オレンジやグレープフルーツ等）の成分を含むものは使用しないでください。
特に塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤・殺菌剤は部品が破損する事があります。
- 5) 電気部品には絶対に水をかけないこと。

清掃周期	No.	清掃箇所
① 毎日の清掃	1	・ミルクタンク/ミルクタンク蓋 ・ジョイントガスケット ・ミルクノズルホース215/ストレーナーSUS/ストレーナー
	2	冷蔵庫内および扉内面
	3	ミルクノズル
	4	ミルクインレットR
	5	排水トレイ
	6	ミルク経路（薬剤ミルク経路リンス）
	7	製品の外部
② 500杯または 一週間に1回以上の清掃	1	凝縮器フィルター
③ 提供を長期間停止 する場合	1	①～②の全て

6. 定期的清掃・お手入れ

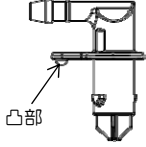
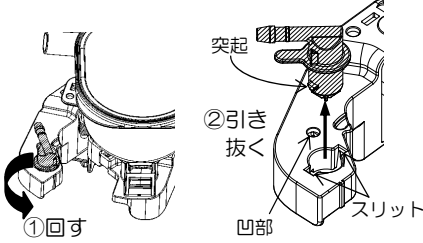

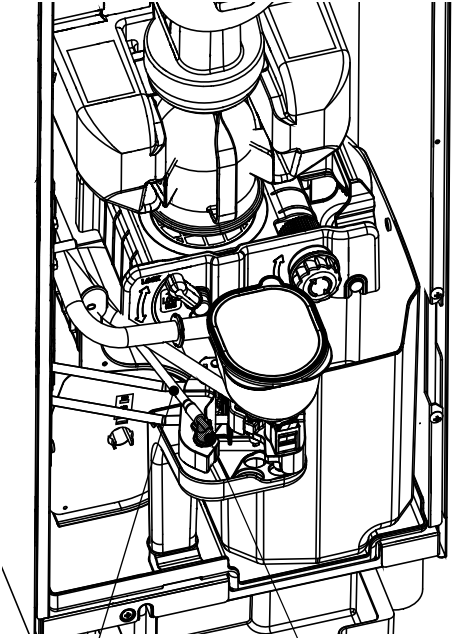
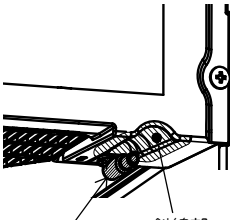
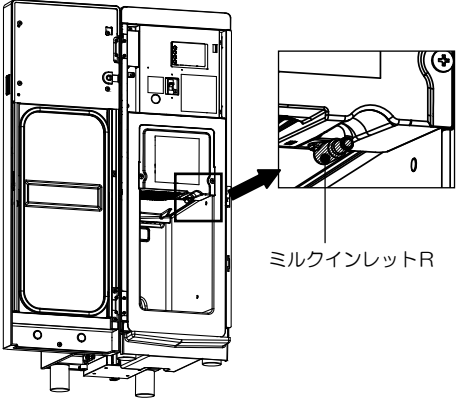
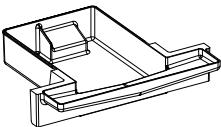
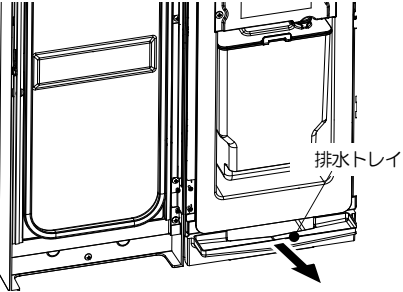
6. 2 清掃周期と清掃箇所

(1) 毎日の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルクタンク ・ミルクタンク蓋 ・ジョイントガasket ・ミルクノズルホース215 ・ストレーナーSUS ・ストレーナー 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本体からミルクタンクを引出した後、ミルクタンク蓋を開けて中に残っているミルクを廃棄する。 2) ミルクタンク蓋の各部品を分解する。ミルクノズルホース215は、接続部を持って真っ直ぐ引き抜いて外す。 3) 外した各部品を洗浄する。洗浄は食器用中性洗剤（非柑橘系）を使用し、やわらかいスポンジで各部品内外を十分に洗う。ミルクノズルホース215は、洗剤液中でもみ洗います。 4) 各部品を水道水ですすぎ、洗剤成分を洗い流す。 5) 水分を切った後、各部品を元通りに組付ける。 <p> 水漏れの恐れがありますので、外した部品は確実にセットしてください。</p>	<p style="text-align: center;">位置</p>  <p style="text-align: center;">ミルクタンク蓋 取外し手順</p>  <p style="text-align: center;">※取付は逆の手順で取付ける。</p> <p style="text-align: center;">ジョイントガasket取付 詳細図</p> 
2	<p>冷蔵庫内および扉内面</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 扉を開き、ミルクタンクを外す。 2) 湿らせた清潔なタオル等で、冷蔵庫内および扉内面（右図斜線部）の汚れを拭き取る。 	


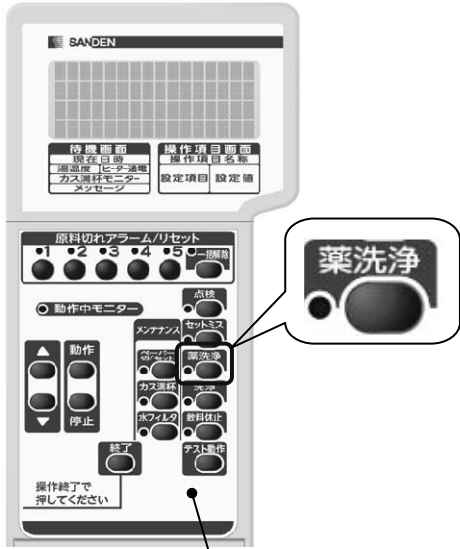


6. 定期的清掃・お手入れ

(1) 毎日の清掃

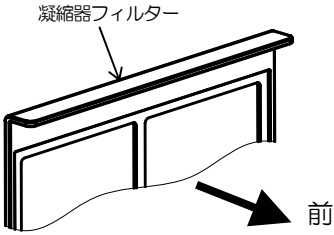
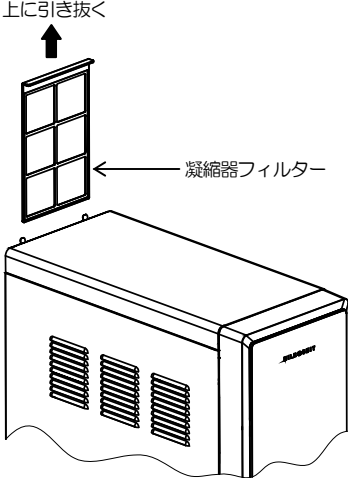
No.	清掃箇所	清掃方法	位置
3	<p>ミルクノズル</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1) ミルクノズルに接続されている、ミルクノズルホースを引き抜く。 2) ミルクノズルを反時計方向に回転させ、突起部がスリットに合う位置（右下図）に合わせ、上に引き抜く。  <ol style="list-style-type: none"> 3) ミルクノズルを中性洗剤を浸したブラシで洗浄し、水道水で良くすすぎ、水を切る。 4) 2)と逆の手順でミルクノズルをノズル回転台に取付ける。この時、ボチ部をノズル回転台の凹に合わせた位置で固定する。 5) ミルクノズルホースを接続する。 <p> 水漏れの恐れがありますので、外した部品は確実にセットしてください。</p>	 <p>ミルクノズル ミルクノズルホース</p>
4	<p>ミルクインレットR</p>  <p>斜線部 ミルクインレットR</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ミルクタンクを取り出しておく。 2) 殺菌用エタノールを湿らせたペーパータオルを用い、ミルクインレットRおよびその周囲（左図斜線部）を、拭き取り清掃する。 	 <p>ミルクインレットR</p>
5	<p>排水トレイ</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 扉を開け、排水トレイを手前に引き出す。 2) 排水を捨て、水洗いし水気を拭き取り、元の位置へもどす。 	 <p>排水トレイ</p>

6. 定期的清掃・お手入れ

(1) 毎日の清掃

<p>6</p> <p>ミルク経路 (薬剤ミルク経路リンス)</p>	<p>1)カバーキーボードの【薬洗浄】→【▽】キーを押し、[2. ミルクケイロ]を選択後、【動作】キーを押す。</p> <p>2)空のミルクタンクに専用の薬剤（1包）を入れ、冷蔵庫にセットする。 【ミルクユニット専用薬剤：RCM-MLC07】</p> <p>3)カバーキーボードの【動作】キーを押して洗浄を開始する。</p> <p>4)“ピー”音がしたら薬剤洗浄終了。</p> <p>5)ミルクタンクに残っている薬剤を廃棄し、ミルクタンクと蓋を水道水で良くすすぎ、水気を切る。</p> <p>6)ミルクタンクに新しいミルクを充填し、冷蔵庫にセットする。</p> <p> ミルクノズルから熱湯がでます。やけどに注意してください。終了まで、約7分程度かかります。終了するまで製品の前を離れないでください。</p>	 <p>カバーキーボード</p>
<p>7</p> <p>製品の外部</p>	<p>1) 製品外面の汚れを、湿らせたタオル等で拭き取る。</p> <p> 外面に、アルコールやシンナーは使用しないでください。部品が劣化し、破損する可能性があります。</p>	

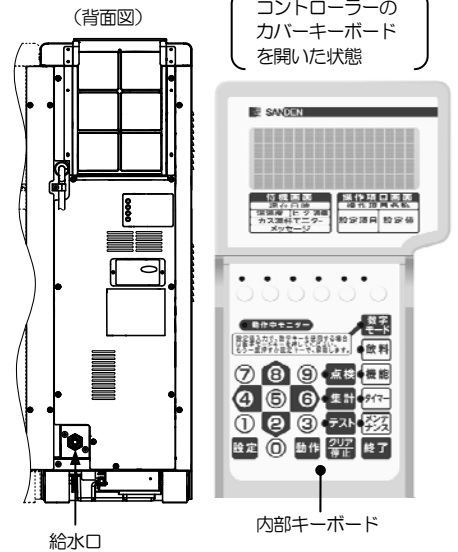
(2) 500杯または一週間に1回以上の清掃

No.	清掃箇所	清掃方法	位置
<p>1</p>	<p>凝縮器フィルター</p>	<p>1)製品背面にある凝縮器フィルターを上引き抜く。</p> <p>2)引出した凝縮器フィルターに付着したほこりを、やわらかいブラシまたは掃除機で落とす。汚れがひどい場合には、水洗いし、十分に水分を取る。</p> <p>3)凝縮器フィルターを元通りに取付ける。 ※取付向きに注意（下図参照）</p> 	

6. 定期的清掃・お手入れ

6. 3 提供を長期間停止する場合

- 1) ミルクタンクに残ったミルクを廃棄し、水道水ですすいでください。
- 2) 薬剤ミルク経路リンスを実施してください。
- 3) 6. 2項の(1)「毎日の清掃」から
(2)「500杯または一週間に1回以上の清掃」
までの清掃項目を実施してください。
- 4) 製品外部の給水元栓を閉じ、背面の給水配管を外してください。
配管内の水が流れ出ますので、水受けを給水口の下に置いてください。
- 5) コントローラーのカバーキーボード内にある、内部キーボードを
操作し、配管内の水抜きを行ってください。
 - ① 内部キーボードの“**テスト**”を押す。
 - ② “**数字**”キーを押し、続けて“**9**”“**7**”キーを押した後、
“**設定**”キーを押す。
コントローラーに“97) ミルクユニットミスヌキ”が表示される。
 - ③ “**2**”キーで“2. ゼンケイロ”を選択。
 - ④ “**動作**”キーを押す。
 - ⑤ 水抜き終了まで数分かかります。動作が終了したら電源をOFFする。
- 6) 洗浄後は機体を十分乾燥させてください。
- 7) 漏電遮断器は「切」にして、電源プラグを抜いてください。
- 8) 給水口、製品全体をポリシートなどで覆ってください。



コントローラーの
カバーキーボード
を開いた状態

6. 4 消耗部品

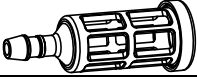

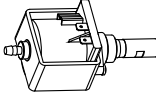
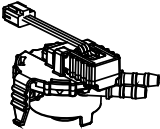
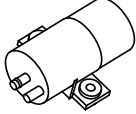
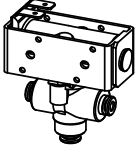

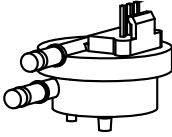
(1) 消耗部品一覧 下記の部品は消耗部品です。期限がきたら交換していただく部品です。

部品名	外 観	交換時期	備考
ミルク配管キット①		1 年間	配管図中①
ミルク配管キット②		1 年間	配管図中②
ミルク配管キット③		1 年間	配管図中③
ミルク配管キット④		1 年間	配管図中④
ミルクタンク AU		1 年間	配管図中⑤
Xリング009		累積動作時間 250 時間	配管図中⑥の構成部品 所定時間を超えると、 キーボードモニターに 交換時期警告を表示する。
駆動歯車		累積動作時間 250 時間	
従動歯車		累積動作時間 250 時間	
OリングS18		累積動作時間 250 時間	
OリングS25		累積動作時間 250 時間	
ジョイントガスケット		1 年間	配管図中⑦

6. 定期的清掃・お手入れ

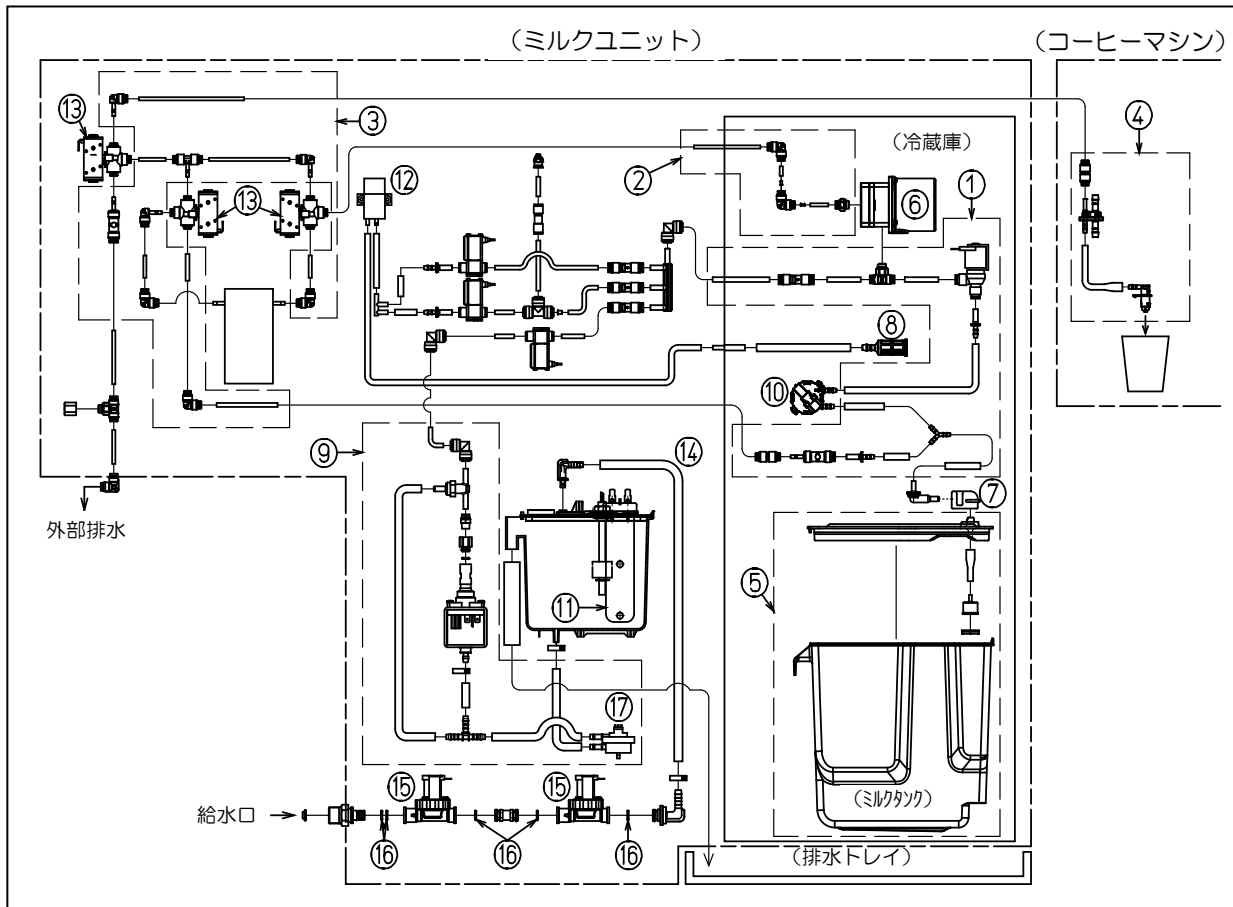
(1) 消耗部品一覧

下記の部品は消耗部品です。期限がきたら交換していただく部品です。

部品名	外 観	交換時期	備考
エアーストレーナAU		1 年間	配管図中⑧
扉ガasketMF		1 年間	扉内面に取付のパッキン
水ポンプキット	 , 他	累積動作時間 250 時間	配管図中⑨ 所定時間を超えると キーボードモニターに 交換時期警告を表示する
流量計MF		2 年間	配管図中⑩
塩素発生器電極RN-4000		累積動作時間 2500 時間	配管図中⑪ 所定時間を超えると キーボードモニターに 交換時期警告を表示する
エアポンプR27U-2-24 BL-03		累積動作時間 700 時間	配管図中⑫ 所定時間を超えると キーボードモニターに 交換時期警告を表示する
レバーバルブETV-219-F 20-4FF-024		2 年間	配管図中⑬ (3 個)
ブレードホースM40		5 年間	配管図中⑭
給水電磁弁		5 年間	配管図中⑮ (2 個)
OリングP9		5 年間	配管図中⑯ (5 個)
流量計TAB32-S21PO18C		5 年間	配管図中⑰

6. 定期的清掃・お手入れ

(2) 消耗部品使用箇所 (配管図)



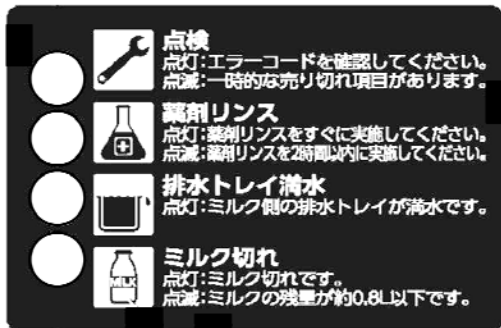
7. 故障診断

故障や売り切れが発生していると、プロセス表示灯の最下段が点灯します。診断には、次の二つの方法があります。

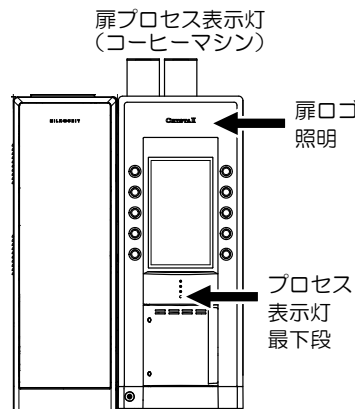
1. ミルクユニットの扉を開いて本体側正面、および製品背面の警告表示モニターの確認
2. カバーキーボードの“点検”キーによる売切れ項目・故障項目の表示確認

7. 1 警告表示モニターによる故障診断

ミルクユニット内部および製品背面の警告表示モニター



モニターランプ

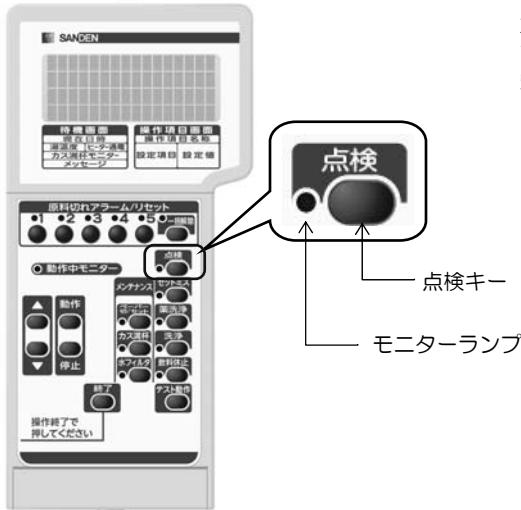


警告表示モニター	ランプ	発生原因	処置
点検	点灯	点検が必要な故障発生で飲料搬出を停止しています	カバーキーボードの【点検】キーで故障内容を確認し、故障コード一覧の解除方法にしたがって処置をおこなってください
	点滅	一時的な売り切れ項目発生で飲料搬出を停止しています	カバーキーボードの【点検】キーで売切れ内容を確認し、売切れコード一覧の解除方法にあった処置をおこなってください
薬剤リンス	点灯	前回薬剤洗浄を実施してから26時間以上経過しています	薬剤リンスを実施してください
	点滅	前回薬剤洗浄を実施してから24時間以上経過しています	薬剤リンスを2時間以内に実施してください
排水トレイ満水	点灯	排水トレイが満水のため飲料搬出を停止しています	排水トレイの排液を捨て、水洗いして水気を拭き取り、再セットしてください
ミルク切れ	点灯	ミルク切れが発生しています	ミルクタンクを外し、タンク内に残ったミルクを新しいミルク 1 瓶~4 瓶と入れ替えてください
	点滅	ミルク残量が少なくなっています	ミルクを補充出来る様に準備をしてください
扉ロゴ照明 ※	点灯	飲料搬出が可能な状態です	—
	点滅	飲料搬出が出来ない売り切れ項目や故障項目が発生しています	警告表示モニターまたは【点検】キーで原因を調査し、原因に合った上記の対応をしてください
コーヒーマシンのプロセス表示灯 最下段	点灯	次の4項目の他、コントローラーの点検項目、あるいは排水トレイ満水が発生しています ①ペーパー切れ ②カス満杯 ③ミルク薬剤洗浄 ④ミルク切れ	警告表示モニターのランプが点灯している項目を確認し、適切な処置をしてください (上記各項目の処置を参照)
	点滅	次の4項目の売り切れ予告です ①ペーパー切れ (5杯以内) ②カス満杯 (5杯以内) ③ミルク薬剤洗浄 (2時間以内) ④ミルク切れ (残り500mL以内)	警告表示モニターのランプが点滅している項目を確認し、適切な処置をしてください (上記各項目の処置を参照)

※【機能】「O2」照明設定にて「扉ロゴ (RC)」が【自動】に設定されている場合に機能します。

7. 故障診断

7.2 キーボードによる故障診断



飲料搬出を制限する原因となる売切れ項目または故障項目が発生すると、キーボードの点検キー横のモニターランプが点滅または点灯します。

モニターランプ	製品の状態
点滅	売切れ項目が発生中
点灯	故障項目が発生中
消灯	売切れ及び故障項目はありません

※現在の売切れ/故障項目、売切れ/故障コード一覧は、コーヒーマシンに付属の取扱い説明書をご覧ください。適合する項目の発生原因と解除方法をご確認ください。

(1) 現在の売切れ項目を確認する。

手順	操作キー	操作方法	モニター画面表示
1	点検	カバーキーボードまたは内部キーボードの【点検】キーを1回押すと、現在発生中の売切れ項目の確認モードになります。 (表示例の場合) <ul style="list-style-type: none"> 発生日時 : 2017年7月10日 9時30分 売切れコード : 905 売切れ内容 : レギュラーユティオン (レギュラー湯低温) 	<p>売切れがある場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>01 ゲンザイウリキ 2017/07/10 09:30 No. 905 レギュラーユティオン</p> </div> <p>売切れが無い場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>01 ゲンザイウリキ ウリキナシ</p> </div>
2	▽	複数発生している場合は【▽】キーを押すと次の売切れ項目を表示します。 (表示例の場合) <ul style="list-style-type: none"> 発生日時 : 2017年7月10日 7時15分 売切れコード : 903 売切れ内容 : ユタンクテイスイ (湯タンク低水位) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>01 ゲンザイウリキ 2017/07/10 07:15 No. 903 ユタンクテイスイ</p> </div>
3	終了	【終了】で待機状態に戻ります。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2017/07/11 10:05 H95°C HL カスマンイマデ 27ハイ</p> </div>

注1. 最大16件表示します。

注2. 発生時刻の新しい順に表示します。

注3. 売切れコード及び内容、解除方法は コーヒーマシンに付属の取扱い説明書の●売切れコード一覧をご参照ください。

7. 故障診断

(2) 現在の故障項目を確認する。

手順	操作キー	操作方法	表示
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">点検</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">点検</div>	カバーキーボードまたは内部キーボードの【点検】キーを2回押すと、現在発生中の故障項目の確認モードになります。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 15時30分 ・故障コード : 1702 ・故障内容 : フロートスイッチイショウ (フロートスイッチ異常)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">故障がある場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>02) ゲンザイノコショウ 2017/07/10 15:30 No. 1702 フロートスイッチイショウ</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">故障が無い場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>02) ゲンザイノコショウ コショウナシ</p> </div> </div>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">▽</div>	複数発生している場合は【▽】キーを押すと次の故障項目を表示します。 (表示例の場合) ・発生日時 : 2017年7月10日 9時00分 ・売切れコード : 3073 ・売切れ内容 : ミルモータロックイショウ (ミルモータロック異常)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>02) ゲンザイノコショウ 2017/07/10 9:00 No. 3073 ミルモータロックイショウ</p> </div>
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">終了</div>	【終了】で待機状態に戻ります。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2017/07/11 10:05 H95°C HL カスマンバ イマデ 27ハイ</p> </div>

注1. 最大 16 件表示します。

注2. 発生時刻の新しい順に表示します。

注3. 故障コード及び内容、解除方法は コーヒーマシンに付属の取扱い説明書の●故障コード一覧をご参照ください。

8. 仕様

項目	仕様	備考
品名	レギュラーコーヒーマシン用ミルクユニット	
製品型式名	RCM2-MU4-SD	
外形寸法 (mm)	幅250×奥行555×高さ760	
製品質量 (kg)	42.5 (乾燥質量)	
定格電源 消費電力 電熱装置消費電力	単相交流100V±10V 50/60Hz 15A 253/261W 955W	コード機外長2.5m
ミルク容器	4L (専用コンテナ)	売切れ検知機能 ミルクタンク検知機能
冷却装置 冷却方式 冷蔵庫 保冷温度 凝縮器フィルター 吸排気	コンプレッサー冷却 HFO-1234yf 内箱ABS製 発泡ウレタン断熱 0~5℃ (周囲温度15~35℃) あり (背面取付上方着脱) 背面吸気、左側面排気	
加熱ユニット 加熱方式 ヒータ 安全装置 温度制御	配管加熱式 950W 自動復帰式温度過昇防止器+手動復帰式温度過昇防止器 サーミスタ制御 (可変式)	
ミルク搬出装置 制御方法	ポンプ式 コーヒーマシン側コントローラーとの通信制御	
排水トレイ	容量0.9リットル (満水検知0.3L)	
安全装置	電源ヒューズ (15A) 漏電遮断器 (定格感度電流15mA) 過昇防止装置 排水満水検知機能	
給水方式 給水接続仕様 水フィルター	水道直結方式 接続口径 PJ1/2オスねじ 外付け (付属なし)	
オプション	給水タンクキット 排水タンクキット	

本仕様は改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。